

第16回 北海道e-水フォーラム

第16回北海道e-水フォーラムを開催します。

今年はリニューアルオープンした北海道庁旧本庁舎（赤れんが庁舎）ホールAでの開催を予定しています。

基調講演には、北海道大学北方生物圏フィールド科学センター厚岸臨海実験所所長の仲岡雅裕教授をお迎えします。

北海道e-水プロジェクトの助成を受け全道で活動してきた団体とお迎えする基調講演の講師とともに、北海道の水環境について考えてみませんか？会場でお待ちしています。

2025

11.21金

18:00～20:30

（受付開始 17:30）

会場

道庁赤れんが庁舎 ホールA

札幌市中央区北3条西6丁目1番地

地下1階南側出入口にて受付をします。正面出入口から左側へ向かうと、地下1階南側出入口がございます。

※赤れんが庁舎内の展示物をご覧いただけません。
（展示室への入室には有料チケットをお買い求めください）



2025年活動団体発表

【e-水コース5団体】（カッコ内は主な活動地域）

- ① NPO法人EnVision環境保全事務所（中標津町・標津町）
- ② オホーツク 魚類研究会（美幌町）
- ③ 特定非営利活動法人シュマリナイ湖ワールドセンター（幌加内町）
- ④ 富良野の自然に親しむ会（富良野市）
- ⑤ 特定非営利活動法人 みんなの（砂川市）

【特別枠】（カッコ内は主な活動地域）

★北海道コカ・コーラボトリング株式会社（札幌市）

※北海道e-水プロジェクトは他に次世代コース4団体、しずくコース8団体に助成しています。次世代コース、しずくコースの活動発表は後日、北海道e-水プロジェクトのホームページで公開します。（URL→<https://emizu.heco-spc.or.jp>）

基調講演

『海のゆりかご：アマモ場が支える生物多様性と私たちの暮らし』

アマモ場は「海のゆりかご」と呼ばれ、水産有用種を含む多くの海洋生物が育つ場所であり、水質浄化、二酸化炭素吸収・隔離（ブルーカーボン機能）など、海を豊かに保つ大切な役割を担っています。しかし、近年進行する地球温暖化や沿岸開発などにより各地で減少が報告されています。本講演では、広大なアマモ場が残る北海道東部での研究活動を中心に紹介し、豊かな沿岸生態系を未来に残すために私たちができることについて考えたいと思います。

講師：仲岡 雅裕 教授（なかおか まさひろ）

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター
厚岸臨海実験所 所長



参加方法

参加費：無料（定員100名）

要事前申し込み・先着順

こちらのお申し込みフォームから申し込みください。

ご不明点は、下記のお問合せ先までご連絡ください。



お申し込みフォーム

参加者プレゼント

ご参加の皆さまに、「い・ろ・は・す 北海道の天然水」540mlペットボトルを1本ずつプレゼントします。



北海道e-水プロジェクト

お問合せ：北海道e-水プロジェクト事務局（公益財団法人北海道環境財団）
TEL：011-218-7811

※北海道e-水プロジェクトは北海道コカ・コーラボトリング株式会社、北海道、公益財団法人北海道環境財団の協働事業として、北海道の水環境保全活動に取り組んでいます。「い・ろ・は・す 北海道の天然水」540ml・950mlペットボトルの売上の一部は、『北海道e-水プロジェクト』の活動資金として活用されています。

